

所属・資格 心理学科・教授

申請者氏名 岡 隆

研究課題		ステレオタイプ抑制の逆説的効果に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	ステレオタイプを抑制すると、かえってそのステレオタイプの使用を促進するという、逆説的効果が生じる。本研究では、ステレオタイプを抑制するさいに、どのようなことを思考すれば、ステレオタイプのアクセシビリティを高めることなく、その結果、逆説的効果を招致しないですむかを検討する。本年度は、その要因として、代替思考としての非優位的ステレオタイプについて、上位と下位のステレオタイプを取り上げて、その有効性を比較検討した。
	研究の結果	実験の結果は、上位の非優位ステレオタイプを代替思考として使用すると、ステレオタイプのアクセシビリティが高まりにくく、逆説的効果が生じにくい。下位の非優位ステレオタイプを使用しても、逆説的効果は変動しないことを示していた。
	研究の考察・反省	これまで、ステレオタイプ抑制の逆説的効果に影響する要因として認知的方略としての代替思考の有効性については、ほとんど研究がなされてこなかったが、本研究は、有効な代替思考の可能性として、上位の非有意ステレオタイプを特定した。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表 日本社会心理学会 精神疾患者とネガティブなステレオタイプとの連合に仮想接触が及ぼす効果—代替思考としての仮想接触の役割に注目した検討— 2018年8月28日/追手門学院大学</p> <p>研究成果物 ステレオタイプ抑制における反ステレオタイプと非優位ステレオタイプの役割 心理学研究, 89(1), 12-21, 2018年4月25日, 日本心理学会。</p>